室外ユニット据付工事

施工の際には、室外ユニットに付属の施工説明書を参照のうえ施工してください。

室外ユニット据付基礎について

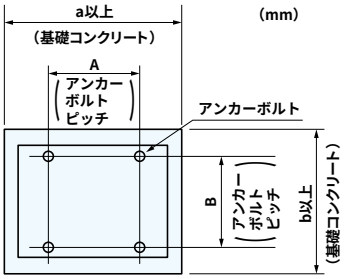
●基礎は右図に従って十分な強度を持たせ、雨水・塵埃・破損から室外ユニットを保護するため、高さを床面より200mmとし、周囲には排水用の溝を設けてドレンを排水口へ導いてください。

●基礎には平均的に室外ユニットの荷重がかかり、上面に雨水等が溜まらないように水平かつ平滑に仕上げてください。

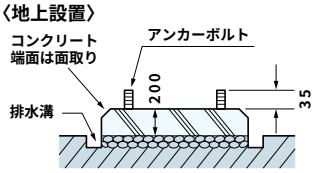
●基礎に下駄基礎は使用しないでください。下駄基礎では十分な強度は得られません。

●室外ユニット下部から凝縮水が滴下する可能性があります。凝縮水の滴下が問題になる場合は、ドレンパンなどを設置してください。

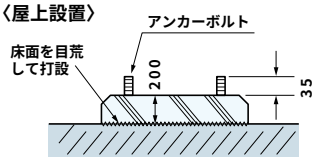
〈基礎寸法〉



〈地上設置〉



〈屋上設置〉



(1) 基礎寸法

室外ユニット	設置場所・設計震度	基礎寸法(mm)		アンカーボルトピッチ(mm)	
		a	b	A	B
P224~P450(小型)形	地上／水平0.4G、0.2G			743	956
	屋上／水平1.0G、0.5G			743	956
P450~P710形	地上／水平0.4G、0.2G			841	956
	屋上／水平1.0G、0.5G			841	956

防振架台について

「防振材の使用にあたって」

防振材をご使用の場合は必ずオプションとして指定された防振架台をご使用ください。オプション設定品は該当GHPの専用設計となっており、他のものをご使用された場合は異常振動等の不具合が発生する恐れがあります。

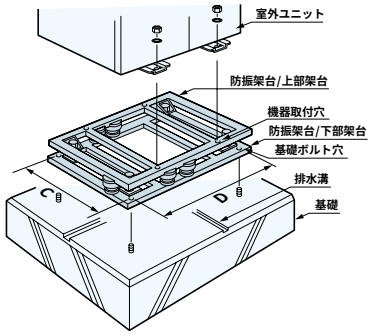
●屋上・ベランダ設置等で隣室・階下への振動が問題となる場合に設置してください。（施工の詳細は、防振架台に付属の施工マニュアルを参照してください。）

●防振架台を使用する場合の基礎のアンカーボルトピッチは下表を参照してください。

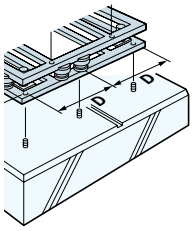
●防振架台の下部架台の内側に雨水等が溜まらないように基礎上面にも排水溝を設けてください。

●基礎は全面基礎（ベタ基礎）として、上面は水平を出し防振架台の下部架台と密接するように平滑に仕上げてください。

P224～P450（小型）形の場合
（4点固定）



P450～P710形の場合
（6点固定）



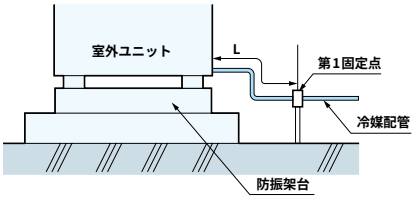
(1) 防振架台機種

室外ユニット	機　種	C寸法(mm)	D寸法(mm)
P224~P450(小型)形	AGVJ280E1		
P450~P710形	AGVJ560E1		

※1 オプションの基礎ボルトブラケットを利用して固定する場合。

冷媒配管の固定方法について

●防振架台を使用する場合、冷媒配管の第一固定までの距離（L）は右図寸法を確保してください。



室外ユニット	L
P224～P710形	1500mm以上

室外ユニット据付時の注意事項

●室外ユニットは直下や周辺に振動騒音を問題にしない場所に設置してください。（特に住宅区域では注意してください。）

●室外ユニットのファン吹出し風が隣家に吹きつけない場所に設置してください。

●雨水の浸入や水溜まりができるおそれのない平坦な場所に設置してください。

●強い風が室外ユニットに吹きつけない場所に設置してください。

●室外ユニットはノイズで他の電気機器に影響をおよぼす場合がありますのでテレビ・ラジオ・パソコン・電話などの電気機器本体およびアンテナ線・電話線・信号線などから十分な距離を確保して設置してください。

●他の機器から熱の影響を受けない場所に設置してください。

●降雪地域では落雪の恐れのない場所に設置し、防雪フード（オプション品）を設置してください。また基礎は積雪の影響を受けない高さにしてください。